



地域から始めよう!



しずおか防犯まちづくり

防犯まちづくり ニュース

No. 158

令和2年2月 29 日
しずおか防犯まちづくり
県民会議発行
事務局 暮らし交通安全課
TEL:054-221-3715

令和元年の県内の犯罪発生状況

令和元年の刑法犯認知件数

～県警データ(確定値)～

17,876 件

17年連続で減少!!

刑法犯とは?

刑法などの法律に規定される

殺人・強盗・放火・強姦(強制性交等)

・暴行・傷害・窃盗・詐欺などの犯罪。

刑法犯のうち、約7割が「窃盗」
だったにゃん!! 「窃盗」って
こんなにも多いのねっ。



★身近な犯罪発生状況

～県警データ(確定値)～

| 手口 | 認知 件数 | 前年比 (件数) | 前年比 (増減率) |
|--------|----------|-------------|--------------|
| 自転車盗 | 2,796 | ▲358 | ▲11.4% |
| オートバイ盗 | 369 | ▲6 | ▲1.6% |
| 自動車盗 | 130 | ▲10 | ▲7.1% |
| 車上ねらい | 914 | ▲134 | ▲12.8% |
| 部品ねらい | 333 | ▲118 | ▲26.2% |
| 空き巣 | 465 | ▲50 | ▲9.7% |
| 忍込み | 267 | +16 | +6.4% |
| ひったくり | 18 | ±0 | ±0% |
| 強制わいせつ | 140 | +5 | +3.7% |
| 万引き | 2,451 | ▲111 | ▲4.3% |

★特殊詐欺発生状況

～県警データ(暫定値)～

| 特殊詐欺手口 | 件数 | 被害総額 | 前年比 (件数増減率) (被害総額増減率) |
|--------------------|-----|-------------|-----------------------------|
| ○振り込め詐欺 | 248 | 4億 4,872 万円 | ▲40.5% ▲52.6% |
| ・オレオレ詐欺 | 185 | 3億 129 万円 | ▲38.9% ▲52.6% |
| ・架空請求詐欺 | 49 | 1億 3,639 万円 | ▲45.6% ▲48.8% |
| ・融資保証金詐欺 | 12 | 914 万円 | +9.1% ▲69.7% |
| ・還付金等詐欺 | 2 | 190 万円 | ▲84.6% ▲87.8% |
| ○振り込め詐欺 以外の特殊詐欺 | 3 | 1,034 万円 | ▲50.0% ▲54.4% |
| 合計 | 251 | 4億 5,906 万円 | ▲40.7% ▲52.7% |

令和元年中の犯罪発生状況は昨年と比べ、増加している項目もありますが、そのほとんどが減少しています。令和2年もひとりひとりの防犯意識を高めて、安全・安心なまちづくりを進めていきましょう!!

～3月11日は東日本大震災から9年～ もし、避難生活を送ることになったら・・・？

避難生活が長く続くと、先の見えない将来への不安やストレス、心身の疲労などからトラブルが起こりやすくなります。混乱の中の盗難や詐欺話、暴力行為による傷害事件、わいせつ行為等の性的犯罪など・・・起こりうる犯罪を考えるとキリがありません。日頃から、どんな対策が必要なのかを考えておくと、いざという時安心です。



どんな対策が必要なの???

そんな時は
防犯まちづくり講座で学びましょう！！

「災害時の防犯を知る」～in 防犯まちづくり講座～



2/15(土) 静岡市清水市民活動センターで行われた
清永先生の体験型講座に参加してきたにゃん！！

第1部 座学

- ・日本は地震大国、特に太平洋側の危険性は高い
- ・地震で亡くなった方の多くは高齢者
- ・地震の被害は高齢者、女性、子どもが遭いやすい。
- ・地震で亡くなった方の8割は発生からわずか15分の間に押しつぶされて亡くなっている。**避難訓練より先に「その時どうする」を考える必要がある。**



今、地震が起こりました！！
「さあ、みなさんどうしますか？」先生の合図とともに机に潜り込んだり、うなじ付近をおさえている様子です。

一番最初に守らなければならないのは、うなじ(後頸部)付近なんだって！！
私は頭頂部だと思っていたにゃん

自然災害弱者+犯罪弱者=災害防犯弱者
(自助力の低い高齢者・障がい者・子ども・女性・外国の方)

守るには

- ①自助—自分で頑張る
- ②共助—その時その場で共有した人と頑張る(瞬間ボランティア)
- ③公助—個人の垣根を越えて被災者と手を結ぶ
(国・自治体・NPO・自発的個人等支援—献身)

- ①大地震は犯罪を産み出しやすい環境に違いが出る
- ②震災の時間経過につれ、生じる犯罪の顔に違いが出る
- ③ ①②の違いに応じた防犯活動が成されねばならない

犯罪を産み出す構図には変わらない
あるのは**大地震**という刃向かえない**絶対的な破壊**
弱い者は弱く・強いものは強く**弱肉強食の論理** etc.

第2部 グループワーク テーマ「安心して眠れる夜を避難所に」

- ①ひとり暮らし(男性) ②夫婦のみ ③4人家族(子ども中1・小2) ④ひとり暮らし(女性)

上記の設定のグループに分かれて、意見を出し合います。避難所に持っていく持ち物は何が必要か？また財産を守る、体を守るにはどうしたらよいかなどを話し合いました。

話し合いが終わると、いざ実践！！避難者グループと犯人グループに分かれ、避難所に見立てた空間の中で体験です。避難者側は置いてある釣り糸や防犯ブザーなど、それぞれのアイデアで道具を使いこなし、どうしたら被害に遭わずにすむのかを考えました。逆に犯人側は、どうやったら盗みや体に触るなど成功させることができるかを真剣に考え、演じていました。

犯人側も演じることによって、どういうところに隙が発生するのかを知ることができ、貴重な体験となりました。



講座を終えて、みなさんととても充実した
笑顔で帰って行けました。体験型は、実際の災害時に
講座を思い出し、行動しやすいメリットがあります。グループワークは
緊張感もありつつも和気あいあいとしており、楽しく学ぶことが
できました！

